

医学研究実施のお知らせ

本学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方(もしくは代理人の方)にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】 自己免疫性肝疾患における血中エクソソーム miRNA の解析と新規バイオマーカーの同定

【研究の概要】

研究の目的

本研究では、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性胆管炎など慢性肝疾患患者さんの血清を用いて、血液中のマイクロ RNA という小さな RNA の発現を網羅的に解析し、病態の解明や診断、病気の活動性の指標を同定することが目的です。比較対象として健常な方の発現解析も併せて行います。また、結果より得られたマイクロ RNA の発現を肝病理組織を用いて評価します。

研究期間

承認日～2027年4月2日まで、研究の実施を予定しています。

対象となる方等

研究機関：附属病院

対象となる方：当院で2013年1月1日～2022年3月10日までに自己免疫性肝炎、原発性胆汁性胆管炎、B型肝炎、C型肝炎、非アルコール性脂肪性肝炎、アルコール性肝障害と診断され、臨床研究 自己免疫性肝疾患におけるリンパ球 miRNA 発現プロファイル解析、慢性肝炎における血漿カリクレイン依存 TGF- 活性化反応と肝線維化との関連の解析、自己免疫性消化器病疾患における網羅的メタボローム解析と新規バイオマーカーの同定、肝疾患における血中 Protein kinase C (PKC) delta と病態との関連性に参加し、血清と肝病理組織標本が保存されている方。また、2016年9月16日～2018年3月31日までに臨床研究、自己免疫性消化器病疾患における網羅的メタボローム解析と新規バイオマーカーの同定に健常者として参加され血清が保存されている方。さらに、2013年1月1日～2022年3月10日までに転移性肝癌または肝内胆管癌の診断・治療目的で、肝生検または手術を受けられ当院に肝病理組織が保存されている方。

研究に利用する試料、情報等

試料：上記の研究で使用し保管されている余剰血清、肝病理組織標本

情報：診断名、年齢、検査結果（血液検査、画像検査、病理所見）治療内容や臨床経過

他の機関（検査会社等含む）へ試料や情報等を提供する方法

本研究では、に記す対応を行ってから下記のとおり提供致します。

本研究では、以下の機関でマイクロ RNA の発現解析を行います。

提供先の機関：

国立がん研究センター研究所分子細胞治療研究分野 主任分野長 落谷 孝広

提供方法：凍結状態で郵送

提供する試料・情報の種類：血液

東京医科大学 分子病理学分野 教授 黒田 雅彦

提供方法：郵送

提供する試料・情報の種類：肝病理組織のパラフィン切片

【問い合わせ先（対応時間：平日 9：00 ～ 17：00）】

東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科

研究代表者：佐伯 千里（さえき ちさと）

電話：03-3433-1111 （内線：3201）

利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。